

2009年度試行排出量取引スキーム 目標設定参加者実績等について

平成23年12月
経済産業省、環境省

試行排出量取引スキーム 2009年度目標設定者の目標達成状況

- 試行排出量取引スキームにおいて2009年度の目標を設定した90者のうち、実排出ベースで、60者が目標を超過達成、30者が削減不足(部門別・業種別の状況は下表の通り)。削減不足者は、不足量の借り入れ(ボロージン)、試行排出枠や京都クレジットの購入・償却を活用した結果、すべての参加者が2009年度目標を達成した。
- 目標指標別では、総量目標設定者38者の内34者(9割)が目標を達成し、原単位目標設定者は52者の内半数の26者が削減不足となった。
- また、第三者検証は90者中38者(うち自主行動計画参加企業30者)が受検した。

部門	業種	超過達成	削減不足	総量目標		原単位目標		目標と実績の差分(万t-CO ₂)		
				超過達成	削減不足	超過達成	削減不足		総量	原単位
産業	鉄鋼	1		1				1,708	1,708	
	化学等	6	5	4		2	5	9	14	▲ 4
	製紙等	6	2	2		4	2	▲ 3	10	▲ 12
	セメント・板硝子等	4	3	2		2	3	30	34	▲ 4
	電機・電子	5	4	2	2	3	2	27	7	20
	自動車	1		1				186	186	
	その他製造業等	9	1	5		4	1	11	8	3
エネ転	電気事業		9				9	▲ 6,190	0	▲ 6,190
	石油精製	5	1			5	1	40	0	40
業務	商社・銀行等	19	4	14	2	5	2	3	2	1
運輸	航空・貨物等	4	1	3		1	1	63	44	20
合計		60	30	34	4	26	26	▲ 4,116	2,011	▲ 6,127

(参考) 自主参加型国内排出量取引制度(JVETS)参加者(全て総量目標)については、2009年度に削減を行った81者中67者が超過削減(63.1万t-CO₂)、14者が削減不足(1.5万t-CO₂)であり、目標と実績の差分の81者合計は61.6万t-CO₂超過削減。本年9月末までに取引を終え(取引件数24件、5.8万t-CO₂)、全ての主体が目標を達成。

試行排出量取引スキーム 2009年度目標設定者の目標達成状況

- 実排出ベースで目標を達成した60者のうち、9者が昨年度の排出枠ボローイング（借り入れ）分を償却（32万t-CO₂）、55者は余剰排出枠をバンキング（2,113万t-CO₂）。
- また、実排出ベースで削減不足であった30者のうち、5者が昨年度バンキング排出枠を活用（8万t-CO₂）、12者が外部クレジットを活用（うち国内クレジットが2者（0.03万t-CO₂）、京都クレジットが10者（5,228万t-CO₂））、22者がボローイングを活用（1,024万t-CO₂）。この結果、全ての参加者について、2009年度の目標達成を確認。

達成（実排出ベース） 60者（2,145万t-CO₂）

余剰排出枠の活用	者	活用量 (万t-CO ₂)
他者に売却	0	0
昨年度ボローイング分償却※1	9	32
バンキング	55	2,113
今年度超過達成分を 全量バンキング	51	2,097
昨年度ボローイング分償却後の 余剰分をバンキング	4	16

※1: 5者は今年度余剰排出枠償却後なお残る昨年度ボローイング分について、今年度も引き続きボローイング（14万t-CO₂）。

削減不足 30者（6,260万t-CO₂）

不足分の埋め合わせに活用した 排出枠・クレジット	者	活用量 (万t-CO ₂)
昨年度バンキング排出枠※2	5	8
他者排出枠	0	0
国内クレジット	2	0.03
京都クレジット	10	5,228
ボローイング※3	22	1,024
今年度削減不足分を 全量ボローイング	13	62
国内クレジット、京都クレジット 償却後不足分をボローイング	9	962

※2: 5者はなお余剰する昨年度バンキング分を今年度も引き続きバンキング（24万t-CO₂）。

※3: 17者は昨年度ボローイング分について今年度も引き続きボローイング（2,958万t-CO₂）。

2008年度及び
2009年度の累積

バンキング（累積）	60者	2,137万t-CO ₂
ボローイング（累積）	27者	3,996万t-CO ₂

（参考）JVETSでは実排出ベースの目標達成者67者の余剰排出枠の内、売却（9者、2.3万t-CO₂）、バンキング（40者、48.7万t-CO₂）、取消等（23者、12.1万t-CO₂）。実排出ベースの削減不足者14者は他社排出枠の取引（14者、1.5万t-CO₂）を活用。この結果、全ての参加者について目標を達成。